

令和8年度 消防本部 経営方針

令和8年4月
消防長 吉良真吾

1 部・室の基本方針

(1) 部の組織目標	(2) 「まちづくり構想 福知山」で掲げる基本政策・施策の実現、及び行政改革大綱 2022-2026 の取組推進に向けた部内の運営方針
市民の暮らしと生命を守るため、複雑化、多様化、大規模化する災害に対応できるよう、消防・救急体制及び大規模災害時の広域応援に対応した受援体制の充実強化を図る。	【まちづくり構想 福知山】○施策目標 2-1 防災・減災、災害対策の強化 複雑化、多様化、大規模化する災害への安全かつ迅速な活動能力の向上を図るため、高度な消防技能・知識の習得、消防施設や車両、各種資機材の計画的な整備、市民救命士の積極的な育成に取り組む、市民協働による救命率の向上、市民救命士の積極的な育成に取り組む。 また、住宅火災による死傷者の発生を防ぐため高齢化社会に対応した住宅火災予防体制を推進するとともに、防火対象物の違反是正を積極的に推進する。 地域防災の要である消防団においては、団員の確保対策を推進するとともに施設、車両、資機材の計画的な更新整備と魅力ある消防団活動の実践、消防団活動への理解促進を推し進める。 【行政改革大綱 2022-2026】○基本方針 3 福知山市職員としての資質の向上 劇的な自然環境、社会変化に伴い高まる災害リスクに柔軟に対応できる消防職員の育成を目指し、充実した業務研修の実施、訓練や現場活動における検証・監察体制の強化を図ります。 また、若い職員が課を横断し、組織課題を抽出、解決に向けたアイデアを企画立案し、実現する仕組みを構築し、職員のマネジメント能力とやる気・積極性の醸成を図り、組織の活性化を目指します。

2 令和8年度の重点目標

No	重点目標	現状認識（重点目標の背景にある現状と課題、社会の動向など）	取組内容及び成果指標	達成状況（年度末評価）	達成度
1	新たな消防体制（部隊専任化・3交替制への移行）への転換に向けた体制整備	○3交替制移行に向けた体制整備 ○火災調査体制の強化 ○予防及び総務分野における人材育成 ○複雑多様化する災害対応における部隊専任化に向けた検証体制の構築	【取組内容】 - 現場活動の検証体制の構築 - 火災調査員にかかる要綱の作成 3交替に向けた業務内容の移管準備 - 若手職員が意見を言いやすく、業務に反映しやすい仕組みづくり - 効率的な人材育成のためのジョブローテーションの実施 【成果指標】 - 現場活動の検証体制の整備（年度内） - 火災調査員要綱素案の作成 - 規則改正の素案作成と機構改編議会説明（12月）		

			・ 3 交替に向けた勤務シフトの作成 ・ 若手職員の意見聞き取り（1 回/3 か月） ・ 若手職員提案制度の制度設計（年度内） ・ ジョブローテーションの制度設計（年度内）		
2	高度な消防技能を持つ消防職員の育成 【消防職員教育訓練事業】 【消防職員高度教育訓練事業】	○複雑多様化する災害対応に迅速的確に対応する組織、部隊の育成に向けた訓練体系の樹立と実施 ○各年代、業務内容、職階に応じた人材育成の実施 ○大規模林野火災への的確な対応 ○大規模災害時の受援体制の強化 ○充実した職員研修の実施	【取組内容】 ・ 各年代、業務内容、職階に応じた人材育成基本方針の策定 ・ 職員研修の充実 ・ 危機管理部局との連携強化及び訓練の実施 ・ 受援訓練の定期的な実施 【成果指標】 ・ 新規採用職員の実務研修の実施 （9 月～11 月） ・ 先進地消防本部実務研修の実施（1 回以上） ・ CRM 研修の実施 ・ 違反是正に関する実務研修の実施 （国のアドバイザー制度活用） ・ 大規模林野火災の受援に関する研修の実施 （国のアドバイザー制度活用） ・ 林野火災を想定した受援訓練等の実施 ・ 救急ワークステーション週 1 回完全実施		
3	消防団員の確保対策 【消防団施設整備事業】 【消防団活動事業】	○消防団員による効率的な部隊運用を図り、初動体制の充実や効率的な災害対応を実現するために、地域事情に即した計画的な消防団施設の整備・更新を実施する。 ○国が示す「消防団員の確保に向けたマニュアル」等を参考にし、今後の消防団活動にあたり取り組むべき事項について消防団員の意見も聞きながら実践する。 ○地域防災力維持のため魅力ある消防団活動の実践、消防団活動への理解促進、地域との連携 ○団員の安全確保のため装備品等を計画的に更新整備する。	【取組内容】 ・ 消防団の再編・統合に向けて分団及び地元自治会と協議調整を実施し、事業化を図る。 ・ 女性や学生団員、機能別団員等の入団促進及び定員確保に係る調査研究 ・ 消防団の再編・統合に向けて地域と連携 ・ 行事等における負担軽減対策の検討を継続 ・ 装備品にかかる活動環境の改善 【成果指標】 ・ 雀部分団統合車庫詰所 設計着手 ・ 西中分団統合車庫詰所 建設地決定 ・ 消防団員充足率 目標（令和8 100%） 実績 令和3 92.4% 令和4 84.7% 令和5 84.8% 令和6 83.6% 令和7 82.1% ・ 救助用半長靴（安全靴）を12月までに整備		

4	高齢化社会に対応した防火対策の推進と防火対象物などの消防法令適合と地域防災力の向上 【防火安全対策推進事業】 【自主防災組織育成事業】	○住宅火災による死者数は65歳以上の高齢者が7割以上で今後更なる高齢化の進展に伴い予防対策が必要である。 ○不特定多数、要配慮者利用施設など市民が安心・安全に利用できるよう防火指導、違反是正等の徹底を図る。 ○大規模災害時において地域住民組織による災害対応が不可欠である。	【取組内容】 ・一人暮らし高齢者宅防火訪問の実施 ・防火対象物等への立入検査の実施 ・違反是正の推進 ・自主防災リーダーの養成の実施 ・耐震ブレーカーの設置促進に係る制度研究 【成果指標】 ・高齢者宅防火訪問500軒以上 ・立入検査200件以上 (防火対象物170件、危険物施設30件) ・重大違反対象物16件中 8件以上是正 ・自主防災リーダー養成講座2回実施		
5	消防車両の更新整備と消防水利の適正維持 【消防車両更新事業】 【消防水利更新事業】	○近年、シャシ供給メーカーの減少、艤装の複雑化、発注時期の集中などにより、車両の制作に期間を要するようになっているため適切な納期の設定が必要である。 ○消防水利の適正配置と維持により、迅速な消火体制を確立する。	【取組内容】 ・車両制作に要する期間について調査、検討を行い適切な納期を設定する。 ・老朽化した消防水利の更新と適正配置 【成果指標】 ・更新車両を年度内に納車する。 ・消防水利の充足率の維持（87%）		
6	市民協働による救命率の向上 【救急活動事業】	○救命率及び社会復帰率を上昇させるためにはバイスタンダーとなりうる人が迅速・的確な心肺蘇生等の応急手当をすることが重要である。 ○行政と市民が一体となり、地域コミュニティを活かした救急体制を構築し、ひとりひとりが命を繋ぎ助け合うより安心・安全なまちづくりをめざす。	【取組内容】 ・市民救命士の新規および再受講者の養成 ・ファーストレスポnderの拡充 ・救急まちかど安心ステーションの拡充 ・救急安心センター（＃7119）の利用促進 【成果指標】 ・市民救命士養成講座の開催要綱見直しによる受講者の確保 ・ファーストレスポnder制度の拡充（新規実施地区及び登録者の確保） ・救急まちかど安心ステーション（新規登録5箇所） ・＃7119利用実績 目標（3%） ・心拍再開率 目標（令和8 30%） 実績 令和3 12. 8% 令和4 19. 1% 令和5 18. 4% 令和6 42. 7%（※調査確定後の修正値） 令和7 27. 2%		

【達成度】

区分	達成の度合	定量的な判断基準	定性的な判断基準
A	目標を著しく上回る成果をもって達成	達成水準に対して 150%以上の成果	期待を大幅に上回る成果
B	目標を上回る達成	達成水準に対して 110%以上の成果	期待以上の成果を挙げた
C	目標通りに達成	達成水準通り（100%）の成果	ほぼ期待通りの成果を挙げた
D	目標を未達成	達成水準に対して 100%未満 複数の成果目標に対して一部未達成	期待通りの成果に至らなかった
E	目標を著しく未達成	達成水準に対して 50%未満	期待を大幅に下回る結果

3 所管部署が関与する庁内推進組織

推進組織の名称	役割等	所管事項（概要）	令和8年度取組内容	進捗状況